

人権センター 図書だより



Vol.34 令和5年11月30日発行

発行：四日市市人権センター

TEL.354-8609 FAX.354-8611

jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

早いもので、今年もあと1ヶ月となりました。12月は「師走」とよばれます。語源として、“師”である僧侶が、お経をあげるために東西を馳せる月という意味の「師馳す（しはす）」が有力な説だと言われています。何かと慌ただしくなる時期ですが、少し心を落ち着けて、ゆっくり読書を楽しんでみてはどうでしょうか。

今回は10月～11月の新刊のご案内です。人権センターでは人権に関する図書を取り揃えていて、1回に5冊まで、2週間借りることができます。直接人権センターへお越しいただくか、お電話でお気軽にお問い合わせください。

12/10（日）『じんけんフェスタ2023』を開催します
9:30～16:00 四日市市文化会館（四日市市安島2-5-3）



劇団うりんこ

第2ホール 10:30～

クモばんばと
ぎんのくつした

ぼくがぼくを
すきになる
はじめての
きもち

STORY

なめくじのぼうやは、「きもちわるい」といわれ、いつもひとりぼっち。あるとき、きらわれもののクモのおばあさんとであいます。そのふたりが、クモの糸であんだ色とりどりのあみものを売る「クモばんばの店」で、力を合わせはじめました…。

人権週間記念映画「ハウ」

手話通訳・要約筆記あり（映画は字幕つき）

第1ホール 13:40～



STORY

© 2022「ハウ」製作委員会

婚約者にフラれ、ひとり空虚な日々を送っていた民夫。ひよんなことから声が出ない犬“ハウ”を飼うことになり、民夫は徐々に生きる気力を取り戻していく。しかし、ある日…。ワンと鳴けない犬とちょっと気弱な青年の物語。



新着図書より 一部紹介



「人生で一番大切なことは思い出を作ることだ」

「今度は私があなたたちの“言葉”をおぼえる」

『DIE WITH ZERO(ダイ ウイズ ゼロ)
人生が豊かになりすぎる究極のルール』

(J-5-291 ビル・パーキンス：著 ダイアモンド社)

全米注目のミリオネアが送るお金の「貯め方」ではなく、「使い切り方」に焦点を当てたこれまでにない「お金の教科書」。「ただ生きるだけでなく、十分に生きる。経済的に豊かになるだけでなく、人生を豊かにする方法を考える。」これがこの本のテーマです。

「人生が豊かになりすぎるお金の使い方」とは？人生観がガラリと変わる9つのルールを紹介しています。

◆「今しかできないこと」に投資する◆一刻も早く経験にお金を使う◆ゼロで死ぬ◆人生最後の日を意識する…
たった一度のあなたの人生を最大限に充実させ、あなたのお金を、あなたの人生で“最も価値のあるもの”と交換する方法を教えてください。一冊です。

『デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士』

(F-244 丸山正樹：著 文藝春秋)

仕事と結婚に失敗した荒井尚人。今の恋人にも半ば心を閉ざしているが、やがて唯一の技能を活かして手話通訳士となる。あるろう者の法廷通訳を務めていたら、若いボランティア女性が接近してきた。現在と過去、二つの事件の謎が交錯をはじめ…。

「コーダ」という言葉をご存じでしょうか？「聴覚に障害のある『ろう者』同士の間にも生まれた耳の聞こえる子ども」のことを英語で「コーダ」（Children of Deaf Adults の略）と呼びます。主人公・尚人は「コーダ」です。社会派ミステリーとしてとても面白い作品ですが、「ろう者」や「手話」について、また「聞こえる人」でもあり「聞こえない人」でもある「コーダ」の苦悩についても丁寧に描かれており、聴覚障害者への理解を深めることのできる、ぜひ読んでいただきたい作品です。

「戦争は誰一人見逃しません」

『戦争が町にやってくる』

(B-87 ロマナ・ロマニーシ/アンドリー・レシヴ：著 ブロンズ社)

ウクライナの作家が子どもたちに向けて描いた平和と戦争の絵本です。

美しい町・ロンドで、人びとは花を育て、変わった家を建て、鳥や草木に話しかけながら楽しく暮らしていました。ところがある日とつぜん「戦争」がやってきたのです。

「戦争」を知らない町の人びとはおろおろするばかり。町を愛するダーンカ、ジールカ、ファビヤンの3人は、知恵と能力のすべてを使い、ロンドを暗闇から救い出そうとします…。

作者の二人が30歳だった2014年、ロシアのクリミア侵攻が始まりました。子どもたちのいる場所が爆撃を受け、多くの人々が亡くなりました。戦争が終わっても傷は残ります。戦争は人も町も変えてしまいます。平和とは何か、戦争とはどういうことなのかを、真っすぐに伝えてくれる絵本です。

「女の子は女らしく。男の子は男らしく。ってなに？」

『女の子だから、男の子だからをなくす本』

(I-4 ユ・ウンジュ：著 (株)エトセトラブックス)

ステキな人になるにはどうしたらいいの？

性別による固定観念を吹き飛ばす韓国発のジェンダー絵本。

「女の子はリーダーになれない」「女の子は優しくしない」「男の子は運動しなきゃ」「男の子は泣いてはいけない」などなど…

子どもたちを縛る「ことば」がなぜいけないのか。具体的に解説しながら、そこから自由になるためにはどうしたらいいのかをカラフルなイラストとともに導きます。

韓国では小学生向けに刊行されロングセラーとなりましたが、未来のために大人も読むべき絵本です。ひとりひとりがみんな違って、それぞれの個性があることを共有し、自分が目指す「ステキな人」になるために、大切なことを教えてくれる、子どもと大人で一緒に読みたい一冊です。



新着図書 10月～11月

漫画作品



入荷月	書名	著者等	出版社等	分類番号
10	健康で文化的な最低限度の生活 12 ★	柏木ハルコ	小学館	J-5 289
10	ケーキの切れない非行少年たち 6 ★	(原作)宮口幸治 (漫画)鈴木マサカズ	新潮社	I-5 7
10	ケーキの切れない非行少年たち 7 ★	(原作)宮口幸治 (漫画)鈴木マサカズ	新潮社	I-5 8
10	SOGI(ソジ)をめぐる法整備はいま LGBTQが直面する法的な現状と課題	(編)LGBT法連合会 (執筆)神谷悠一、ほか	かがわ出版	J-5 290
10	DIE WITH ZERO(ダイ ウィズ ゼロ) 人生が豊かになりすぎる究極のルール	(著)ビル・パーキンス (訳)児島修	ダイヤモンド社	J-5 291
10	LGBTの不都合な真実 活動家の言葉を100%妄信するマスコミ報道は公共的か	松浦大悟	秀和システム	J-5 292
10	セラピーのためのポリヴェーガル理論 調整のリズムとあそび	(著)デブ・デイナ (訳)花丘ちぐさ	春秋社	F 243
10	プロカウンセラーの共感の技術 =The Art of Empathy	杉原保史	創元社	J-4 13
10	ふつうの相談	東畑開人	金剛出版	J-4 14
10	デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士	丸山正樹	文藝春秋	F 244
11	戦争が町にやってくる	(作)ロマナ・ロマニーシ /アンドリー・レシヴ (訳)金原瑞人	ブロンズ新社	B 87
11	山下惣一 百姓の遺言	(著)山下惣一	家の光協会	J-1 145
11	女の子だから、男の子だからをなくす本	(著)ユン・ウンジュ (訳)すんみ	エトセトラブックス	I-4 160
11	ぼくのニセモノをつくるには	(作)ヨシタケシンスケ	ブロンズ新社	I-4 161
11	いえるよ! NO わたしらしく生きるための大切なことば	(文)ジェニー・シモンズ (訳)上田勢子/堀切りエ	大月書店	I-4 162
11	二番目の悪者	(作)林木林 (絵)庄野ナホコ	小さい書房	I-4 163
11	死にそうだけど生きてます	(著)ヒオカ	CCCメディアハウス	I-1 85

次回もお楽しみに♪